

一般質問

ズバリ 市政を問う

本定例会での一般質問は、3月8日から9日までの2日間で行われ、9人の議員が質問しました。その質問と答弁の要旨をお知らせします。
掲載は質問順としています。

介護予防事業の取組みの成果は



矢加部 茂晴 議員

上げている。

地域デイサービスも今後継続していくために

問 地域包括ケアを推進する上でも、地域デイサービス事業の役割は高まっている。しかし最近では協力員の高齢化、減少などにより、事業の実施が困難な地域や実施回数を減らす地域もあると聞いている。

問 地域包括ケアシステムの柱の一つである介護予防事業の取組みは、**市長** 介護保険制度が始まる前の平成7年度から他の市町に先駆けて地域デイサービスを、18年度からは、さんかく塾を実施している。

新たな取組みとして27年度からロコモティブシンドローム（※）予防教室を開催し、28年度は運動を取り入れた認知症予防講座を実施した。これらの取組みにより、要介護認定率が国や県平均よりも低く、一定の効果を

市長 スタートから20年

が経過し、協力員の高齢化が進み、利用する側になる一方で、新たな協力員が増えていない。これからも継続していくために協力員が抱えている課題を把握し、効果的な運営方法を検討、必要に応じて見直しも考えなければならぬ。

答 要介護認定率が国や県より低く効果を上げている

※骨・関節・筋肉などの運動器の障害のために、日常生活に必要な体を動かす能力が低下し、生活の自立度が下がる状態のこと。



地域包括ケアの推進に大きく寄与している地域デイサービス（溝口南行政区）